

〈令和6年度〉ミライカナエル活動サポート事業 スタート支援コース

団体名	辻堂砂山子ども食堂
事業名	子ども食堂事業
事業費	127,467 円（うち藤沢市補助金 106,000 円）

事業の目的

困窮している家庭の子ども、両親もしくは一人親の家庭の子どもが、十分な食事をとれない、一人で食事をする（孤食）の状況にある。このような子どもたちが、友達やボランティアと楽しく食事がとれる居場所をつくる。

事業の内容と成果・効果

＜事業の内容＞

辻堂砂山市民の家を活動拠点に、月1回の子ども食堂を実施した。（計8回）

また、食事後に利用できるレクリエーションコーナーを設け、子供たちが自由に遊べる居場所の提供を行った。

2024 年

- ・8月10日 参加者 19 名・ボランティア 11 名
- ・9月14日 参加者 36 名・ボランティア 9 名
- ・10月12日 参加者 21 名・ボランティア 6 名
- ・11月9日 参加者 19 名・ボランティア 10 名
- ・12月14日 参加者 21 名 ボランティア 12 名

2025 年

- ・1月11日 参加者 21 名・ボランティア 12 名
- ・2月8日 参加者 21 名・ボランティア 15 名
- ・3月8日 参加者 37 名・ボランティア 7 名



食事の様子

＜成果・効果＞

期間を通して、のべ209名が子ども食堂を利用した。一人親・共働き両親の家庭の子供たちが来場することにより、孤食の状態を解消でき、同時に家事支援の役割を果たすことはできた。子どもたちとその両親、ボランティアスタッフ、湘南工科大学のボランティア部が交流できたため、つながりができた。孤独な子どもを助けるセーフティネットの一部になることができた。来場者のアンケートを実施したり、メールやインスタDMなどで子ども達や両親の声を聴くと、食事に関しては野菜も多くてとてもおいしいという声が多かった。子どもたちを連れて親が来ることにより、親同士のコミュニケーションが取れ、ほっとできる場を作ることができた。



レクリエーションコーナーの様子

事業を実施しての課題・3年後に叶えたいミライ

＜事業を実施しての課題＞

- ・当初はボランティア確保に苦労したため、食事提供のみの活動になり、学習支援や子供たちの遊びの相手をする事ができなかった。⇒後半はボランティアを確保し、遊び相手になることができた。
- ・困窮している家庭の子供たちがきている様子は見られなかった。⇒広報の仕方を検討

＜3年後に叶えたいミライ＞

- ①居場所づくり⇒子ども食堂で子どもたちが新しい友達ができ、子供たちのつながりが大きくなる。
- ②親同士の交流の場作り⇒交流の場ができることにより、情報交換したり、リラックスできる場を作っていきたい。
- ③子供から、高齢者まで気軽にこれる場所づくりを行い、地域社会全体が子供を見守り・育てる地域にしていく。